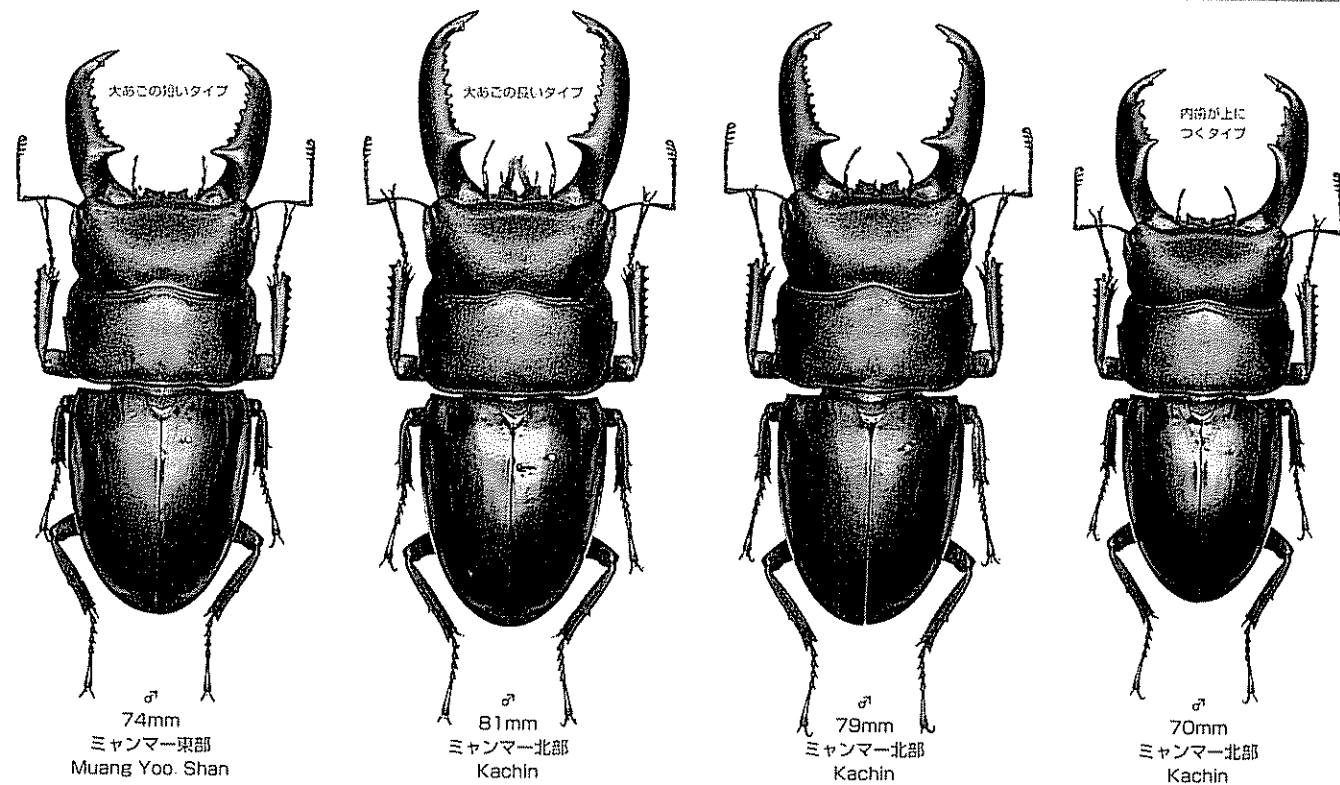


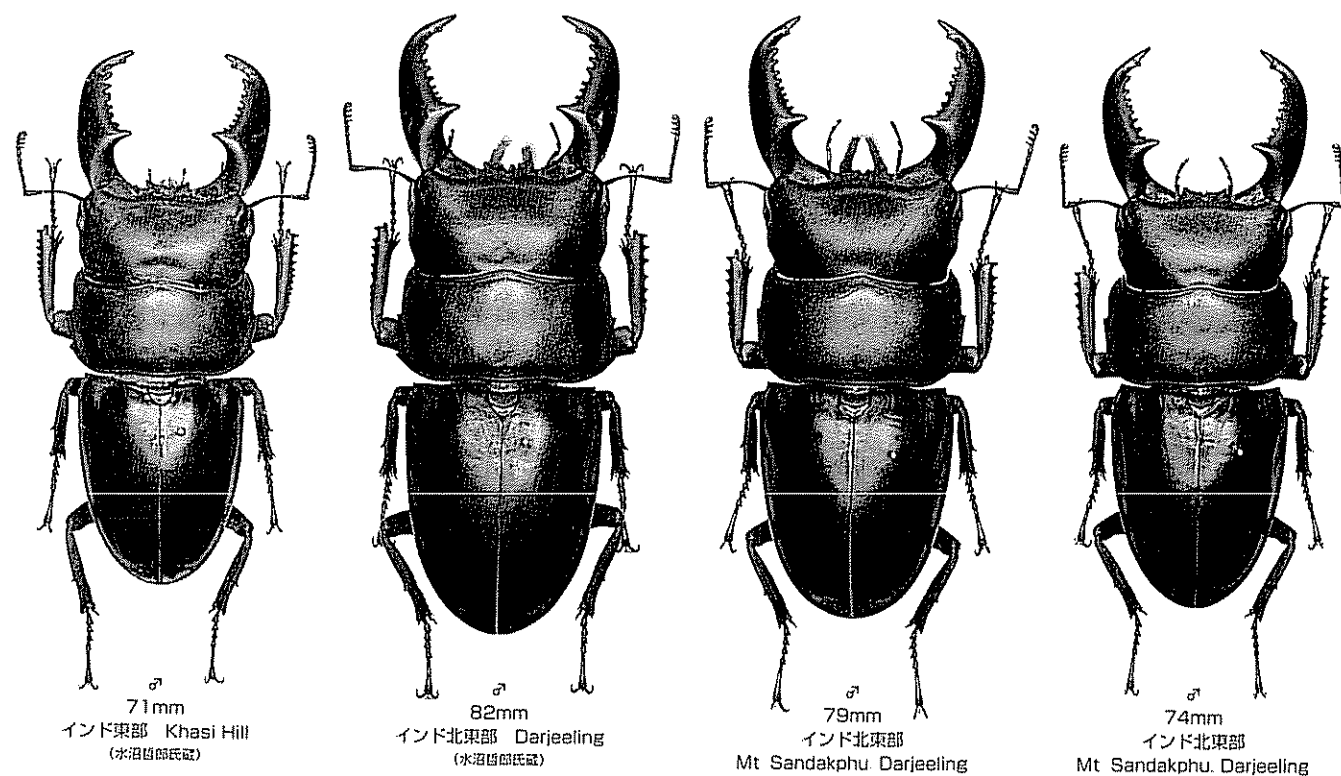
インドヒラタ



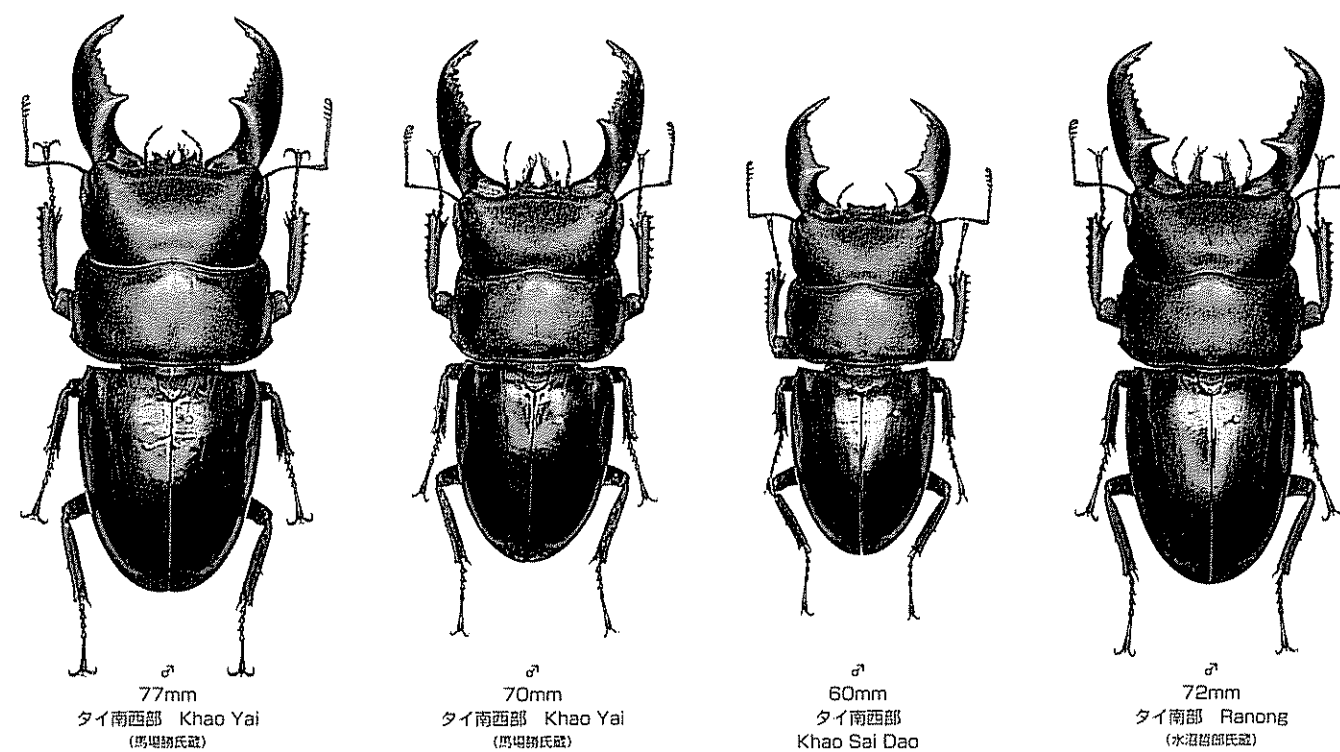
ミャンマー（北部）・インド（北東部）のヒラタクワガタ

ミャンマー北部のヒラタも、大あごがやや長いタイプとやや短いタイプが出現したり、内歯が上につくタイプが出たりと変異に富んでいる。インド北東部産は大あごが太短くて体型がずんぐりしており、タイのChiang Maiあたりのものと良く似ている。これらが、*westernmanni* の基本型と言えるだろう。インドにヒラタがいるのは北東部だけで、デカン高原を含む広大なインド半島では、今のところ知られていないようである。

インドヒラタ



インドヒラタ



タイ（南部）～ミャンマー（南部）のヒラタクワガタ

タイ南部の標本は近年あまり入荷しなくなった。Khao Yai 産の個体を見ると、南部でも内歯が上がる個体が出現しそうだ。ミャンマー南部 Tenasserim の個体は一見 *titanus* 風の個体が多く、オウゴンオニクワガタなどと同様に、マレー半島系の要素がこの地にまで及んでいることを示しているのかもしれない。

インドヒラタ

